

## コロナ第8波到来も…「緊急宣言、重点措置は意味がない」と言い切る尾身会長の危うさ

2022年11月17日 日刊ゲンダイ



歩調を合わせ、政府に“お墨付き”（コロナ対策分科会の尾身茂会長）／（C）JMP

A

16日の全国の新型コロナ新規感染者数は前週水曜日より2万人増え、10万7186人。2日連続、10万人を超えた。

第8波への警戒が高まる中、政府のコロナ対策分科会の尾身茂会長の発言が物議を醸している。15日放送（10日収録）の富山テレビの単独インタビューでこう言ったのだ。

「第8波と言われているが、これから間違いなく拡大する。そのときに社会経済は止めようとする対策はやらない方が良いと思う。今回は（行動制限を要請する）緊急事態宣言や（まん延防止等）重点措置を出しても意味がないと思う。一番はワクチン。若い人は換

気の悪いところではマスクをするということ」

第8波は史上最悪の波になる恐れがある。免疫逃避力が強く、感染が広がりやすい新たな変異株「BQ.1」がジワジワ増えており、12月上旬にも8割近くを占めるとの推測がある。

また、季節性インフルエンザとの同時流行の懸念もある。松野官房長官は16日、インフルエンザの流行について「（過去2年間と比較して）報告数は多く、足元で増加の兆しがみられる」と語った。

### ■また政府にすり寄り…

首相官邸が16日に公表したオミクロンワクチンの接種率は11%にとどまる。未接種で感染すれば、重症化や死亡リスクは高まる。

「第8波はまだ突入したばかりです。今後、どのような感染状況になるかは不透明です。このタイミングで感染症の専門家で分科会のトップである尾身氏が緊急事態宣言や重点措置について『意味がない』と切り捨てれば、国民をミスリードしてしまいかねません。宣言や重点措置による行動制限について、『二度とやめてほしい』と考えている国民も少なくないでしょう。だからこそ、発令されないように感染対策を徹底しようという気持ちになる面もあるのです。影響も考えず、軽々と発言する尾身氏は科学者失格と言わざるを得ません」（西武学園医学技術専門学校東京校校長の中原英臣氏=感染症学）

政府・与党は協力金を伴う宣言や重点措置の発令は避けたいのが本音。尾身会長が歩調を合わせ、専門家の“お墨付き”を与えた格好だ。政府の顔色をうかがうばかりではなく、国民の健康を最優先するマトモな専門家に交代させた方がいい。

できる。